

交通安全標語を募集！



交通安全に対する意識・関心を高め、交通事故防止を図るため、区内の小・中学生を対象に交通安全標語コンクールを行います。

- 【募集標語】 歩行者、自転車、自動車に関する交通安全標語
- 【応募資格】 区内在住又は在学の小・中学生
- 【応募用紙】 区内市立学校に通学している方は各学校で配布。左記以外の方は区くらし応援室、区内各公民館で配布。
- 【応募方法】 10月3日(月)までに区内市立学校に通学している方は各学校へ。左記以外の方は区くらし応援室へ(郵送・ファクス可)
- 【問合せ】 さいたま市交通安全保護者の会(母の会)
中央支部事務局(区くらし応援室内)
☎840・6027 ☎840・6162

少年消防団員追加募集！



消防職員から消火器の使い方や応急手当の方法などを学び、火災や地震などの災害に対する知識を身に付けます。イベントへの参加もあり、楽しみながら防火・防災を学べます。

- 【対象】 市内の小学4～5年生(6年生の募集は締め切りました)
- 【定員】 10人程度(先着順)
- 【申込み】 電話、ファクス又はEメールで、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、性別、学校名、学年、保護者の氏名を予防課へ
- 【問合せ】 消防局予防部予防課
☎833・7509 ☎833・7529
✉shobo-yobo@city.saitama.lg.jp

おれんじサロンきりしき(認知症カフェ)

認知症の方、家族、地域の方が集い、気軽にお茶を飲みながらお互いの交流や情報交換をする事で「ホッ」とできる場です。

参加
無料

- 【日時】 毎月第4木曜日 13:30～15:00
- 【会場】 特別養護老人ホームきりしき(中央区新中里) ユニット棟2F会議室
- 【対象】 認知症の人やその家族、本人や家族に関わる地域の方
- 【定員】 10名(予約制・先着順)
- 【申込み・問合せ】 電話でシニアサポートセンター
きりしきへ☎858・2121



蒸気機関車解体工事へのご協力をお願いします

蒸気機関車解体に伴い、9月上旬から区役所本館敷地及び中央通り沿線で工事を実施します。

区役所業務については、通常通り実施しておりますが、工事中は安全確保のため、本館と別館の連絡橋を適時通行止めいたします。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

【問合せ】 区総務課 ☎840・6013



あなたもうんどう地域指導員になりませんか

高齢者向けの運動器具を使用した運動の指導員養成講座を開講します。

- 【日時】 10月から12月の間の指定日(全12回) 13時30分～15時30分
- 【会場】 講義：浦和コミュニティセンター(浦和駅東口)
浦和区保健センター(浦和区常盤)
実技：調公園(浦和駅西口から徒歩10分程度)
鹿島台公園(浦和駅西口から徒歩15分程度)
※会場は変更になる場合があります
- 【対象】 区内在住で、60歳以上の健康な方
- 【定員】 2名程度(応募多数の場合は選考)
- 【申込み・問合せ】 9月16日(金)までに電話又はファクスで住所、氏名、年齢、電話番号、応募理由を区高齢介護課へ☎840・6068 ☎840・6167
※講座修了生は、指導員として登録され、指導員派遣や自主活動グループの支援、介護予防教室の指導員のサポーター等として活動します。



中央区コミュニティ協議会「コミ協」からのお知らせ

●さいたま市スポーツ推進委員連絡協議会中央区支部

ソフトエアロビクス教室

- 日時▶ 10月1日～22日の毎週土曜日(全4回) 19～21時
- 会場▶ 与野体育館(中央区下落合)
- 内容▶ 歩きながらのエアロビクスダンス
- 対象▶ 市内在住、在勤、又は在学の中学生以上の方
- 定員▶ 50人(応募多数の場合は抽選)
- 費用▶ 1,000円(傷害保険料含む)
- 持ち物▶ 体育館履き・タオル
- 申込み・問合せ▶ 往復はがきで、9月23日(金)(必着)までに教室名、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を記入し、〒338-0001中央区上落合3-2-6 市スポーツ推進委員 立川へ☎852・1563(10時～17時)



児童センターからのお知らせ

与野本町児童センター（中央区本町東）

「親子のひろば」

- **日時** ①0歳：9月7日～毎週水
11時～11時50分
②1歳：9月5日～毎週月
(19日祝を除く)
11時～11時50分
③2歳以上：9月1日～毎週水
※22日祝は休館
11時～11時45分
- **内容** 対象年齢に合わせた親子のふれあいあそびや情報交換
- **対象** ①0歳児 ②1歳児 ③2歳児以上とその保護者
- **問合せ** 与野本町児童センター
☎855・5655 FAX855・5669

向原児童センター（中央区下落合）

「親子であそぼう」

- **日時** ①0歳：9月2日～毎週金
11時～11時30分
②1歳：9月1日～毎週水
11時～11時30分
③2歳以上：毎月第2・4水
※9月は14日・28日に実施
10時30分～11時15分
- **内容** 対象年齢に合わせた親子のふれあいあそびや情報交換、保護者のお友達作り等
- **対象** ①0歳児 ②1歳児 ③2歳児以上とその保護者
- **問合せ** 向原児童センター
☎・FAX834・6083

大戸児童センター（中央区大戸）

「親子のひろば」

- **日時** ①0歳：9月1日～毎週水
※22日祝は休館
10時30分～11時
②1歳：9月6日～毎月第1・3火
10時30分～11時
③2歳以上：9月13日～毎月第2・4火
10時30分～11時15分
- **内容** 対象年齢に合わせた工作や親子のふれあいあそび
- **対象** ①0歳児 ②1歳児 ③2歳児以上とその保護者
- **問合せ** 大戸児童センター
☎・FAX831・9536

※さいたま市社会福祉事業団のホームページ(<http://www.saicity-j.or.jp>)もご覧ください。

無料調停相談

- 【**日時**】 10月22日(土) 10時～16時 ※受付は15時30分まで
- 【**会場**】 県民健康センター大会議室C(県庁第2庁舎前)
- 【**内容**】 金銭貸借・不動産売買・夫婦関係・遺産相続など
- 【**申込み**】 当日、直接会場へ
- 【**問合せ**】 さいたま調停協会 ☎865・6622(専用回線)
9月2日(金)～10月21日(金)の月・水・金曜日
(祝日を除く)10時～16時
市民生活安全課 ☎829・1214 FAX829・1969

第87回 光の庭プロムナード・コンサート ～フルーツとオルガンで聴くフランスの響き～

土曜の午後、光が降りそそぐ会場でポジティブ・オルガン(小型のパイプオルガン)の演奏を出演者のお話とともに楽しむ無料コンサート。今回はフランス音楽を中心としたプログラムをお届けします。

- 【**日時**】 **9月17日(土)**
14時開演(14時40分終演予定)
- 【**会場**】 彩の国さいたま芸術劇場
1階 情報プラザ(中央区上峰)
- 【**出演**】 田宮 亮(オルガン)、岩崎花保(フルート)
- 【**曲目**】 クーブラン:王宮のコンセル第4番より(抜粋)
ハキム:サルヴェ・レジーナ
- 【**問合せ**】 彩の国さいたま芸術劇場 音楽担当
☎858・5506 FAX858・5515



入場無料

ぶどうの直売を行っています!

- 【**時期**】 9月上旬頃まで(9時～16時、火曜日定休)
※終わり次第終了となります
- 【**場所**】 鈴谷8-12-31(金子園)
- 【**問合せ**】 金子園 ☎853・5560 農業政策課 ☎829・1378
詳細は直接農園へお問合せください



こんにちは 区長です

まだまだ、厳しい暑さが続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。9月1日は「防災の日」です。災害はいつどこで起きるか予測が全くつきません。いざというときに備え、避難場所や避難経路等について再確認されてはいかがでしょうか。

9月に入ると、黄金色に実った稲穂がこうべを垂れ、あちらこちらで稲刈りが始まります。中央区にも少し前までは多くの田んぼがあり、稲作が行われていました。

中央区の霧敷川の両サイドにあった田んぼが開発されたのは八代将軍徳川吉宗の時代で、吉宗は土風を引きしめるため鷹狩や水泳をすすめたが、他方では幕府の財政を立て直すために新田開発を積極的に推し進めました。

関東では広大な見沼新田の開発が有名ですが、それと並んで中央区域内にあった高沼(鴻沼)の開発も行われました。高沼は長さ約4キロメートル・幅が100～500メートル位の南北に細長く伸びた溜池で、開発前は与野町、鈴谷・上峰村など17か町村の水田をうるおしていたそうです。

この高沼の開発を手掛けたのは、紀州那賀郡出身の井沢弥惣兵衛為永(1654～1738)というすぐれた土木技術者で、享保13年(1728)に見沼代用水路を完成させ、翌年17か町村の反対を押し切って高沼の開発に着手しました。そして高沼に

代わる新しい水源として、見沼代用水西縁りから取水し、下落合村で東西に二分し高沼の両縁りに東縁用水路と西縁用水路をつくりました。

また、高沼の中央には排水路として霧敷川をつくり、東西の用水路から水田に流し込んだ余水をあつめ、これを下流の村々の用水に利用したあと荒川に放流しました。これが溜池方式に代わる弥惣兵衛の紀州流と呼ばれる開発方式だったのです。

水田は、霧敷川の両側に整然と区画され、検地の結果62町(約62ヘクタール)余りと決まり、割り付けられた町や村々から代官所へ生産高に応じて年貢が上納されました。

これらを考えると、昔の人が重機もなくこのような広い面積を開発したことに感心せざるを得ません。



▲6月22日 未来くるワーク
八王子中学校2年生と

中央区長 大熊 研二